

## 2013年6月より いよいよ測定 受付開始

ちくりん舎をよろしく  
お願いします。

2012年10月末に、市民放射能監視センター(愛称:ちくりん舎)が設立されました。

ちくりん舎のラボは、東京・日の出町の竹林のそばにあります。そこで竹林をひらがなに「ちくりん舎」と命名しました。マスコットキャラクターの「ちくりん君」と共に末永くご支援をお願いします。



### 目次

- 新年度方針がまりました ..... 1
- ゲルマニウム半導体測定器の立上げ・校正が完了しました ..... 2
- 韓国「市民放射能監視センター」設立記念シンポジウムに招かれました ..... 3
- 新たに顧問として梶山正三氏をお迎えしました ..... 3
- 2013年6月より、いよいよ測定受付開始 ..... 4
- ちくりん舎会員募集中 ..... 4

## 新年度方針が決まりました

市民放射能監視センター理事長 浜田和則

4月26日、ちくりん舎第1回年次総会が開かれました。2012年度は測定開始準備に追われましたが、体制も徐々に整い、昨年度の事業報告、会計報告、監事の選任について会員みなさんの承認をいただきました。また、今年度方針、予算についても活発な議論、提案をいただき承認されました。それぞれ重要な項目です。私たちは数十年という長期にわたる測定活動を継続して行うことを第一の目標としています、そのためには測定室の建物の基礎と同様

のしっかりした体制を時間をかけ整えていきたいと考えています。

いよいよ測定器も稼働を始め測定サービスを開始します。福島では除染して一時は減ったがじわじわと空間線量が増えてきている地域もあります。半減期30年のセシウム137はそう簡単に消えてなくなりません。

「長期の市民による監視」という観点から測定プランをたて検体を選び、測定依頼することで、私たちの活動を支えてください。

## 2013年度ちくりん舎活動方針

### [基本方針]

ゲルマニウム半導体測定器による高精度測定体制の確立

### [課題]

#### 1. 測定精度と信頼性の確保

高精度の測定器ほど外的要因(前処理、作業員、環境)の影響を受けやすい。同じものをだれがいつ測っても同じ測定値を得るために測定作業標準書を作成し、繰り返し測定精度20%以下を目標とする。

#### 2. シンポジウムの開催

測定値の評価は依頼者のテーマにより異なるため、基本的に評価は、依頼者が行う。この活動成果について合評、学習する場とする。

#### 3. 事務処理作業の効率化のための業務システム構築

検体試料の受取りから、検査料受領、結果報告、データ管理など一連の作業をシステム化し管理の面から高精度で信頼性の高いものとする。

#### 4. 安定した料金収入を得るための検体数量の確保。

#### 5. 定期的なホームページ更新と通信発行(年4回)体制の確立。

#### 6. NPO法人化

NPO法人化により測定ラボとしての社会的信用を高めるためにプロジェクトチームを作り8月認証を目指す。

# ゲルマニウム半導体測定器の立上げ・校正が完了しました



立ち上がった  
ゲルマニウム半導体測定器

4月16日から24日、ゲルマニウム半導体測定器の立ち上げと校正のために、フランスのACROから研究者2名が来日しました。

4月17日から19日までは立上げ校

正、20、21日は福島県伊達市へ行き「ぼかぼかセミナー」参加と線量測定、サンプル採取、22日から24日はトレーニングと大変あわただしいスケジュールでした。お二人に感謝です。

## ゲルマ測定器のトレーニングに参加して



校正用線源を調整中のミレーンさん(右)とオリビエさん(中)

●これまで放射能測定器を全く扱ったことのない初心者の私にとっても、ミレーンさんとオリビエさんの説明はたいへん分かりやすく、基礎的な質問にも丁寧に答えていただき、放射線の基礎を学ぶ機会にもなりました。また、正確な検査を求める科学者としてのお二人の真摯な姿勢が印象的でした。限られた時間でしたが、福島原発事故をはじめとする放射能汚染問題についても意見を交わすことができ、大変有意義なトレーニングでした。(辻)



オリビエさん(右)と測定器効率について議論

●「トレーニングになるのかしら？」というのが最初の疑問でした。フランス語はもちろん英語も話せない私にとって初めてみる測定器に初めてお会いする方々、しかも言葉が通じない、と不安がいっぱいでした。ですが、ちくりん舎の方々のサポートで不安は解消。そしてどんな時でも笑顔で対応してくださるミレーンさんとオリビエさんがとてもプロフェッショナルですばらしい人たちだということに感激したトレーニングになりました。(武熊)



ちくりん舎での  
歓迎パーティー

●標準物質のキャリブレーションの作業日に見学したが、ACROのお二人は、機器の細かい説明とその役割、そして、どのような原理で放射線を数値化するのかなど、理論的な説明を交えながら、とても丁寧に

話ししてくださった。理論に裏付けられた技術を教えていただいた事を実感した。パソコン画面に展開される分析スペクトルを見て感動!!(吉田)

●ミレーン、オリビアさんとの出会いは、ピックアップの当日なんと予定の西鉄インでお会いできず、2軒ほど隣のコンビニで、浜カズさんがオー、ミレーンさんがいたと叫んで、なんとも奇妙な初対面でした。その後、こちらで用意したジョイントの治具が、窒素漏れを起こしたとき、この浜カズさんは、隠し持っていた工具で、実に器用に、フランスからの治具と液体窒素のデュワー瓶と検出器の密着をタップを切って、見事に窒素漏れを解消したのには、驚きました!ミレーンさんたちの立ち上げ成功的一幕でした。立ち上げグループの方たちもナニナニすごい人ばかり!(中西)

●5月6日、ゲルマニウム測定器の講習を受けました。検体の準備、測定器へ設置、測定器の稼働、パソコンの操作という順番で実施しました。ACROの方の指導を受けた青木さんに懇切丁寧に教えて頂きました。また、パソコンの操作のマニュアルも作成されており理解に役立ちました。早く、一連の操作を理解し身につけ、一人で操作できるようになりたいと思う。そして、高性能のゲルマニウム測定器を利用し体内被曝、環境の状況など、市民レベルで根気強く継続した計測をしていきたい。(宮澤)

# 韓国「市民放射能監視センター」設立記念シンポジウムに招かれました

副理事長 青木一政

4月15日に韓国・ソウルで「市民放射能監視センター」設立総会と記念シンポジウムが行われ、「ちくりん舎」副理事長として招待され、参加してきました。

「韓国市民放射能監視センター」はちくりん舎の正式名称「市民放射能監視センター」と全く同じ名前です。韓国の環境団体、生協、弁護士グループ、カトリックグループなど7団体で構成し、寄付により1000万円以上の資金を集め、ゲルマニウム半導体測定器を設置した監視センターを設立したのです。

設立総会の第一印象は、若いお母さんが多かったことです。会場は100人程度のところでしょうか、立ち見ができていました。ステージに集中して、とても強い熱気を感じました。

挨拶では、福島原発の収束などウソで、大変深刻な状況であること、市民からの放射能監視は原子カムラの原発推進の監視につながることを話しました。フクイチの深刻な実態はほとんど伝わっていなかったようで、とても

熱心に聞いていただけました。

翌日はソウル市外の緑病院を訪問しました。緑病院には「緑病院労働環境健康研究所」が併設されており、この研究所が今回の監視センターの構成委員になっています。ゲルマニウム半導体測定器はこの研究所に設置されており、監視センターの重要な拠点となっています。

緑病院とこの研究所が設立されたのは、1989年に韓国で100人もが死亡する二酸化炭素による労災が発生し、それに対する闘いで政府から賠償を勝ち取り、それを基礎にしたものだそうです。現在でも研究所は政府から独立して、労働環境の研究調査機関として活動しているとのこと。韓国の運動の力強さに圧倒されました。

研究所長のイム・サンユック氏や放射能分析を担当されるイム・ユング氏と研究者と測定オペレータの役割り、測定手順の話など実務的な突っ込んだやり取りをしました。

今後も韓国のセンターとの連携を確認しました。



会場の雰囲気  
若いお母さん方が多い



ゲルマ半導体測定器と  
イム・ユング氏

## 新たに顧問として梶山正三氏をお迎えしました。

### 【ちくりん舎への期待】

国や自治体は、公害や環境問題で悩んでいる人を守ろうとする気持ちが無く、問題に対して自覚もありません。行政を頼ってはいけないと思います。困った状況下であっても、自ら行動することが大切だと思います。

### 【プロフィール】

東京工業大学大学院博士課程卒、東

京都公害研究所（現、東京都環境科学研究所）を経て現在、駒ヶ岳法律事務所弁護士、理学博士。多くの廃棄物訴訟、環境訴訟、公共事業関連訴訟に係わる。ゴミ弁連会長。環境問題、環境政策の専門家による行動する学会（NPO）環境行政改革フォーラム幹事（司法担当）



梶山正三氏

2013年6月より

## いよいよ測定受付開始

市民放射能監視センター  
共同ラボ：

〒190-0181 東京都西多摩郡日の出町大久野 7444  
事務所：

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 2-19 銀鈴会館  
405 共同事務所 AIR 気付  
電話

080-4616-1280 (浜田)

FAX

0465-83-4404

電子メール

[lab.chikurin@gmail.com](mailto:lab.chikurin@gmail.com)

大変お待たせしました。6月よりいよいよ測定受付を開始します。

測定依頼から結果報告までの流れは以下ようになります。

(1) 「放射能測定依頼」をウェブサイトからダウンロードして記入。

ちくりん舎へ送ります。

(2) ちくりん舎から「検体送付のお願い」と振込用紙を送ります。

(3) 指定日に到着するよう、検体を宅配(到着日時指定)でお願いします。

(4) 料金の振込をお願いします。

(5) 測定報告書を送ります。

(6) 検体は受取人払いで返送を原則とします。

詳しくはウェブサイトをご覧ください。電話・Fax・メールでの問い合わせも可能です。

ちくりん舎は、行政から独立して放射能汚染を監視・測定、情報発信する市民団体・個人の共同ラボです

## ちくりん舎 会員募集中

### 測定・事務スタッフ(ボランティア)も募集中

ちくりん舎では会員・賛助会員を募集しています。メールまたは電話、FAXでお問合わせ下さい。

#### ●正会員

団体会員/年会費 1 口 10,000 円  
(何口でも)

個人会員/年会費 3,000 円

ちくりん舎の運営に関わり、ちくりん舎を支えていただく団体、個人です。

ゲルマニウム半導体測定器による高精度分析、NaI シンチレータ測定器による分析が低価格で行えます。

継続的な放射能汚染監視、測定プロジェクトなどを行っている団体・個人などの皆さまが会員として共同ラボちくりん舎を支えていただくことを歓迎します。(詳細はお問合わせ下さい)

#### ●賛助会員

年会費 1 口 1,000 円 (何口でも)

ちくりん舎の趣旨に賛同して支えていただく方々です。ちくりん舎から発行予定のニュースレター、イベント案内等の情報が受け取れます。(詳細はお問合わせ下さい)

#### ●会費振り込み口座

ゆうちょ銀行

振込口座：00150-5-418213

加入者名：市民放射能監視センター  
シミンハウシャノウカン  
シセンター

他行からの振込の場合

店名 ○一九(ゼロイチキューウ店)

預金種目：当座

口座番号：0418213

Web サイトにてお待ちしております。

Web サイト アドレス：

<http://chikurin.org/>